

卵管采による腹膜透析カテーテル閉塞に対し Catheter repair by the forefinger を施行した1例

はせがわ しほ¹⁾ いわした ゆう¹⁾ ふくながしょうへい¹⁾
長谷川 志帆 岩下 裕 福永昇平
もちづき かおり¹⁾ はなだまき¹⁾ はなだけん¹⁾
望月 かおり 花田真希 花田健
いとうたかふみ¹⁾ こいけちあき²⁾ ひらおかたけお²⁾
伊藤 孝史 小池千明 平岡毅郎
しいなひろあき²⁾
椎名 浩昭

キーワード：腹膜透析，カテーテル閉塞，卵管采，Catheter repair by the forefinger，
カテーテル造影

要 旨

腹膜透析カテーテル閉塞は腹膜透析を施行する上で深刻な問題となる。腹膜透析導入後に卵管采による腹膜透析カテーテル閉塞をきたし Catheter repair by the forefinger (CRF) で閉塞を解除しえた症例を経験したので報告する。

患者は79歳女性。2012年12月28日，腹膜透析カテーテル留置術，出口部作成術を施行し，2013年1月7日腹膜透析を導入した。夜間のみ腹腔内貯留を行い，注排液は順調であった。2月14日，注液不良を認め，カテーテル閉塞を疑い，腹膜透析カテーテル造影を施行したが，内腔および側孔の閉塞を認めず，大網巻絡を疑った。CRFを施行し，カテーテル閉塞内容物は卵管采であった。その後，注排液は改善し順調に腹膜透析を施行できた。腹膜透析カテーテル閉塞の原因として卵管采の巻絡は時にみられており，女性の腹膜透析患者において注排液不良の原因として念頭におく必要がある。

緒 言

腹膜透析カテーテル閉塞による注排液不良は腹膜透析を施行する上で深刻な問題となる。今回，腹膜透析導入後に卵管采による腹膜透析カテー

テル閉塞をきたし Catheter repair by the forefinger (CRF) で閉塞を解除しえた症例を経験したので報告する。

症 例

患者：79歳，女性

現病歴：原疾患不明の慢性腎不全で近医に通院中であった。2012年9月，eGFR 9.0 mL/min/BSA

Shiho HASEGAWA et al.

1) 島根大学医学部附属病院腎臓内科 2) 同 泌尿器科
連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1